

発行／2020年12月

編集／滋賀銀行 総合企画部  
サステナブル戦略室 広報グループ

電話／077(521)2202

<https://www.shigagin.com>



LINE



Facebook



当行は、環境省認定  
「エコ・ファースト企業」です。

「環境金融」で低炭素社会へ



当行は、気候変動キャンペーン  
「Fun to Share」に賛同しています。

第134期

# なるほど しがぎん

2020年4月 1日～2020年9月30日

Sustainability  
Design Company

未来を描き、夢をかなえる



## ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

私たちの暮らしや経済に試練をもたらしたコロナ禍は、いまだに収束が見えず、不透明な状況が続いています。当行は、大きな影響を受けられた事業者の皆さまの資金繰り支援や経営支援に努めてまいりました。一方で、相場が大きく変動する中、資産運用先へのきめ細やかな対応にも注力してまいりました。預金、貸出金は順調に推移しましたが、貸出金利回りの低下などにより、当中間期の親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比22億円減の64億円となりました。

このたびのコロナ禍は社会のデジタル化を加速させ、社会や経済のあり方を大きく変えたと言われています。このような変革期において、当行は10月1日、「サステナビリティ方針」を制定して地域社会とお取引先、地球環境、役職員の持続可能な発展に向けた指針を掲げ、その方針を積極的に推進するために「サステナブル戦略室」を設置しました。戦略室を中心に中長期的な視点でグループが連携し、地域に貢献してまいります。

また、当行自身のデジタルノウハウを活用し、お客さまや地域社会のデジタル化を推進するために、「デジタル推進室」と「デジタル戦略グループ」も新設しました。引き続き、お取引先の生産性向上や地方自治体のデジタル活用などの支援に取り組み、地域全体の価値向上とサービス

アップにつながる課題解決に努めてまいります。

これからもより一層のご愛顧、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2020年12月

取締役頭取

高橋 祥一郎



## CSR憲章 [経営理念]

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神を継承した行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」をCSR(企業の社会的責任)の原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります。

行是  
自分にきびしく  
人には親切  
社会につくす

### 地域社会との 共存共栄

地域とともに歩む銀行として、お客さまの信頼と期待にお応えするため、「健全」と「進取」の精神を貫き、地域社会の発展に努めます。

### 役職員との 共存共栄

役職員一人ひとりの人権や個性を尊重し、働きがいのある職場づくりに努め、心身ともに「グリーンバンクしがぎん」の実現に努めます。

### 地球環境との 共存共栄

琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として「環境経営」を実践し、地球環境を守り、持続可能な社会づくりに努めます。

## 滋賀銀行データ

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 名称    | 株式会社 滋賀銀行<br>THE SHIGA BANK, LTD.  |
| 本店所在地 | 滋賀県大津市浜町1番38号                      |
| 設立    | 1933年10月1日                         |
| 総資産   | 6兆7,022億円                          |
| 預金残高  | 5兆2,826億円<br>(譲渡性預金含む)             |
| 貸出金残高 | 3兆9,839億円                          |
| 資本金   | 330億円                              |
| 従業員   | 2,052人                             |
| 店舗数   | 133カ店(うち代理店25カ店)<br>(2020年9月30日現在) |

## CONTENTS

|                                    |       |
|------------------------------------|-------|
| ●ごあいさつ                             | 1     |
| ●トピックス① サステナブルとデジタルで未来を拓く          | 3~4   |
| ●トピックス② 事業承継・M&Aカンファレンス            |       |
| ●トピックス③ 未来(みらい)くるボード“縦横(じゅうおう)むじん” | 5~6   |
| ●第7次中期経営計画                         | 7~8   |
| ●個人のお客さまへ                          | 9~10  |
| ●法人のお客さまへ                          | 11~12 |
| ●CSRの取り組み                          | 13~14 |
| ●財務データ                             | 15~22 |

# 地域の『デジタル化』を推進し、 『サステナブル』な未来へ

～『Bank』の発想の枠を超え、  
『Company』としての存在に～

社会と経済のサステナブル(持続可能)な発展を目指し、地域社会のデジタル化を推進してまいります。

## 「サステナビリティ方針」を制定し、 「サステナブル戦略室」を設置



当行は、いち早く環境金融やSDGs(持続可能な開発目標)を経営に取り入れ、持続可能な社会の実現に向けて取り組んできました。そして2020年10月、「事業活動による社会的インパクトを重視した経営」「地球環境の保全・再生に資するビジネスモデルの確立」「人権の尊重と社会との信頼関係の構築」など5項目を掲げた「サステナビリティ方針」を制定しました。役職員の足並みをそろえ、しがぎんグループ全体で取り組みをさらに深めていきます。

方針の制定と同時に、本部に「サステナブル戦略室」を設置して体制も強化しました。同室では、「サステナブル推進グループ」「デジタル戦略グループ」など4グループが連携して情報を集約し、中長期的な視点で地域の持続可能な発展に貢献できる施策を推進します。

## 「サステナブル」を支える 「地域のデジタル化」を加速

世界に広がったコロナ禍は、生活様式や働き方などに急激な変化をもたらし、社会と経済のデジタル化の必要性を一層明確にしました。当行は「サステナブル戦略室」とともに、本部に「デジタル推進室」を設置し、地域社会のデジタル化に取り組みます。

当行は既に、デジタル通帳やスマートフォンからの口座開設、窓口タブレットの導入による手続きの簡素化などを実施しています。今後もお客さまの利便性をアップしてサービス向上に努め、お取引先には生産性向上の支援、事業の幅を広げるデジタルプラットフォームの提供、地方自治体のデジタル活用の支援などへの取り組みを強化し、「地域のデジタル化」を加速してお取引先、地域社会の課題解決に努めてまいります。



## お客様の夢をつなぐ事業承継・M&A

～最良のバトンタッチに向けて、

私たちにご相談ください～

地域金融機関の枠を超えた幅広

いネットワークとノウハウで事業の未来に寄り添います。

### 「SDGs 事業承継・M&Aカンファレンス2020」を開催しました!



11月25日、「SDGs 事業承継・M&Aカンファレンス2020」を、国内トップのM&A仲介実績を誇る株式会社日本M&Aセンターと共同開催しました。

当日は、はじめに三日月大造滋賀県知事にご挨拶いただき、続いて日本M&Aセンターの分林保弘会長と三宅卓社長、当行の高橋頭取による対談などを行いました。さらに、業界別のM&A最新動向や事業承継問題の解決手法、東京プロマーケットの紹介、ファンドと組んだ成長戦略など、21テーマにわたって最先端の情報を提供し、お客さまのさまざまな課題解決に役立てていただける内容となりました。WEBを使ったライブ配信でしたが、経営者など7,000名を超える皆さまにご視聴いただき、盛大なイベントとなりました。

### 事業承継・成長戦略の選択肢としてM&Aを

マーケットの先行きに不安を感じたり、先送りしてきた事業承継問題に区切りをつけるため、M&Aを選択される経営者が増えています。当行では、そうした経営者の悩みを解消し、企業の新たな成長のきっかけにもなるM&Aを実現するためのお手伝いを数多く手掛けています。

### パートナー探しは早めの着手がポイント

年々深刻化する事業承継問題の解決には、「早めの着手」が重要です。また、最適なパートナー探しでは、専門的な知見や幅広いネットワークを有する、経験豊富なアドバイザーに相談することが成功の近道となります。当行では数多くの成約実績を持つ本部のM&Aスタッフが、お客さまの多様なニーズに応じて迅速丁寧に対応いたします。少しでもお悩みをお持ちの方は、ぜひ早めにご相談ください。

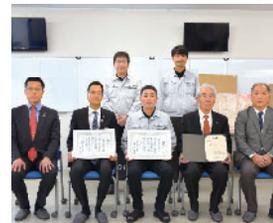
## TOPICS ③ 「未来くるボード“縦横むじん”」

～地域商社構想プロジェクトで地元企業を支援～

飛沫感染防止対策用パーテーションを東海電工株式会社（本社・野洲市）と共同で企画しました。これは、地域に新たな商品や商流を生み出す「地域商社構想プロジェクト」として取り組んだもので、販売収益の一部は新型コロナウイルスと戦う地元医療機関等の支援に役立てられます。



「未来くるボード“縦横むじん”」



地元社会福祉施設にマスクを寄贈しました。

# 第7次中期経営計画

## メインテーマ

### 「未来を描き、夢をかなえる」

「未来を描き、夢をかなえる」がメインテーマの第7次中期経営計画は、今年4月から2年目に入りました。初年度は資産運用の専門チームを新設するなどサービス向上の取り組みを進めています。これからもお客さまや地域の課題解決を起点とする行動に努めてまいります。

～持続可能な社会に向けたアクションの道標～

### サステナビリティビジョン(長期ビジョン)

地域の明るい未来を実現し、当行が果たすべき責任と役割を認識するための長期的なビジョンを策定しています。



※詳細は当行ホームページにて掲載しています。

## 第7次中期経営計画(2019年4月～2024年3月)

### 概要

#### 目指す姿

「Sustainability Design Company」  
～「三方よし」から「共存共栄」の実現へ～

#### メインテーマ

未来を描き、夢をかなえる  
～お客さま・地域社会・役職員の未来をともに～

#### 未来創造 挑戦項目



### 挑戦指標

| 挑戦指標    |                                     | 2022年3月計画           | 2024年3月計画 |
|---------|-------------------------------------|---------------------|-----------|
| SD目標※   | Sustainable Development 推進投資        | (新規投資総額累計) 5,000億円  |           |
|         | 地域顧客の価値向上サポート (コンサルティング相談件数)        | 年間850件              | 年間1,000件  |
|         | 地域顧客の資産形成サポート (預り資産残高「投資信託+金融商品仲介」) | 2,200億円             | 3,000億円   |
|         | 温室効果ガス排出量削減(%) (2013年度比較の削減率)       |                     | 25%削減     |
| 投資目標    | SDGs・金融リテラシーの普及・向上活動 次世代人材の育成活動     | (研修等の実施人数累計) 5,000人 |           |
|         | 親会社株主に帰属する当期純利益(連結)                 | 最終年度 100億円以上        |           |
|         | 顧客向けサービス業務利益                        | 20億円                | 30億円      |
| 長期的挑戦指標 |                                     | 長期的指標               |           |
|         | ROE(連結)                             | 5%以上                |           |
|         | OHR                                 | 65%未満               |           |

(※)SD(Sustainable Development)目標…地域の持続的発展につなげる目標



# 生涯にわたって「頼れる しがぎん」へ

## ～人生100年時代のパートナーとして～ お客さまの資産形成をサポート

お客さまのライフプランに応じた適切な商品・サービスの提供に努めています。

| 10歳代                                 | 20歳代   | 30～40歳代      | 50歳代 | 60歳代                     | 70歳代以降      |
|--------------------------------------|--|--------------|------|--------------------------|-------------|
|                                      | 就職   | 結婚/子育て/マイホーム |      | セカンドライフ                  | 相続          |
| ジュニアNISA                             | 積立型商品 (iDeCo(個人型DC)、NISA(一般、つみたて)、投信積立、平準払型保険) |              |      | 退職金スペシャル定期<br>退職金専用インプラン | 贈与<br>遺言/相続 |
|                                      |  |              |      | 年金定期                     | 信託          |
| 資産運用アドバイザー・パーソナルでの資産運用相談             |  |              |      |                          |             |
| 保険コンサルティング(各種保険の見直し、医療保険・がん保険 の取り扱い) |  |              |      |                          |             |

### 『しがぎん』で資産形成

豊富なラインナップからお客さまのニーズに合った質の高い提案と、アフターフォローを行います。

## 来店不要!便利な アプリをご活用ください



ご来店不要で口座開設(当行に口座をお持ちの方は除きます)ができる「滋賀銀行アプリ」や、ス

マートフォンがあれば明細情報がいつでも確認できる「滋賀銀行デジタル通帳」等のアプリを提供しています。

いつでも・どこでも・簡単に、手数料無料でご利用いただけますので、ぜひご活用ください。

※ご利用にかかる通信費用はお客さまのご負担となります。

## 資産運用の休日窓口を拡大!

2020年7月、これまで別々に運営していたローンと資産運用の休日相談窓口を統合し、名称を「パーソナル」に統一しました。これにより、休日の資産運用相談窓口は滋賀県内3カ所から7カ所に拡大しました。これからも人生100年時代のパートナーとして、お客さまお一人おひとりに寄り添ったきめ細やかなサービスを提供してまいります。



「パーソナル」へのご案内



## お客さまの声を大切にしています

店頭に設置の「コミュニケーションカード」や、郵送による「お客さまアンケート」等を通じていただくお客さまのご意見は、当行が発展していくための大切な“財産”であるとの考えで商品・サービスの改善に取り組んでいます。また、年に一度外部機関によるモニタリングを実施し、店頭での対応状況の点検、改善に努めています。





# 地域社会の未来のために、 幅広い分野で貢献しています。

## コロナ禍からの復興を支援

### コロナに負けるな!物産即売会を開催

7月9日、10日と2日間にわたり、当行本店において、「コロナに負けるな!物産即売会」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた地元の事業者さまを応援するために企画したもので、当行と滋賀県、公益社団法人びわこビジネスターズビューローの3者が連携して実現しました。当日は各社自慢の人気商品が並べられ、心待ちにしていた多くの役職員が応援の気持ちを込めて購入しました。



## 滋賀県ゆかりのアスリートを応援!

### 『しがぎん』スポーツ応援定期 未来リーと<sup>あす</sup>からの寄付金を贈呈

9月28日、『しがぎん』スポーツ応援定期 未来リーと<sup>あす</sup>(※)からの拠出金165万円を「レイクス・スポーツファンド(公益財団法人 滋賀レイクスターズ)」に寄付しました。来年以降、東京オリンピック・パラリンピックや滋賀県での国民スポーツ大会の開催が控えています。滋賀県のスポーツ振興を応援するとともに、地域活性化を後押しするため、今後も滋賀県ゆかりのアスリートを支援してまいります。



※滋賀県のスポーツ振興を目的とする当行独自の預金商品で、毎年7月末時点の預金残高の0.005%相当額を当行が拠出して寄付しています。

## 皆さまの環境保全への想いをかたちに

### 今年も「ニゴロブナ・ワタカ放流事業」へ寄付を行いました!

8月24日、公益財団法人滋賀県水産振興協会の「ニゴロブナ・ワタカ放流事業」へ100万円を寄付しました。これは、『しがぎん』エコプラス定期預金や「ネット投信電子交付サービス」のご利用により削減された紙資源相当額をもとに寄付しているもので、今回の寄付でニゴロブナ1万6千匹とワタカ1万5千匹の稚魚が放流される予定です。



## 持続可能な資源利用

### 環境にやさしい通帳ケースでSDGsを身近なものに!

このたび、当行の通帳ケースをバイオマスプラスチック配合の素材に改良しました。バイオマスプラスチックは、トウモロコシやサトウキビなどの植物由来の原料から作られていて、地下資源の利用削減や地球温暖化の抑制につながる地球環境にやさしい素材です。この取り組みは、持続可能な開発目標(SDGs)のゴール12「持続可能な生産消費形態を確保する」の達成にも貢献しています。





# お客さまと地域の成長のために、 ともに歩んでまいります

## 個人・法人ともに順調に増加

### 預金等

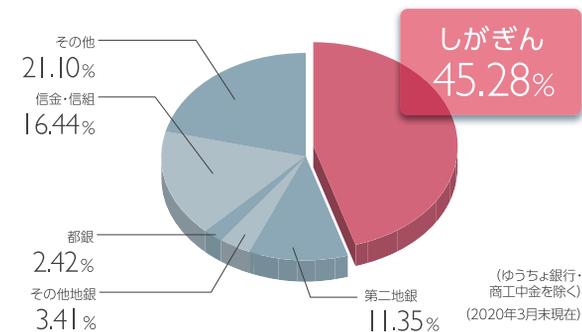
当期も地域の皆さまからのご支持を受けて、期中平均残高は前年同期比2,643億円増加し、5兆1,944億円と順調に推移しています。コアとなる個人預金の期中平均残高は3兆7,282億円で同1,729億円の増加となりました。

### 預金等(譲渡性預金含む) 期中平均残高

単位:億円



### 預金残高「滋賀県内シェア」



※小数点第3位以下四捨五入

## 事業性・消費者向け・地方公共団体向け貸出ともに増加

### 貸出金

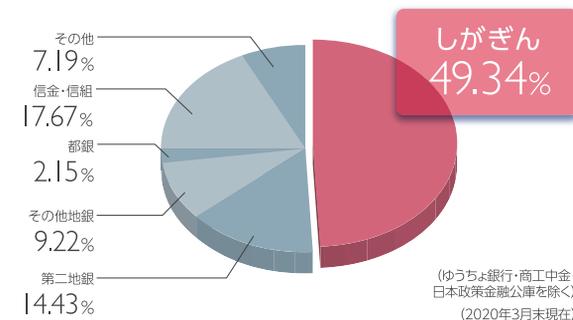
当期は、事業性貸出・消費者向け貸出・地方公共団体向け貸出がそれぞれ増加し、期中平均残高は3兆9,728億円となりました。前年同期比1,980億円、5.24%の増加となりました。

### 貸出金 期中平均残高

単位:億円



### 貸出金残高「滋賀県内シェア」



※小数点第3位以下四捨五入



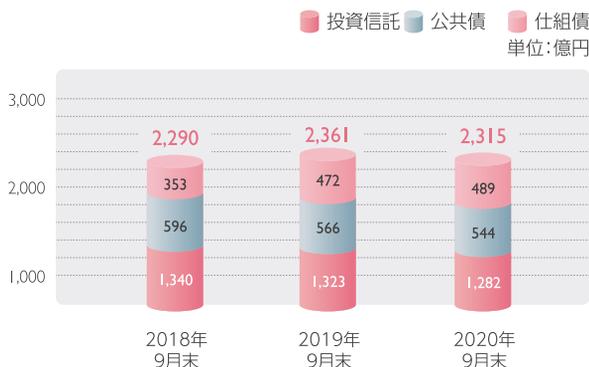
# 資産の運用も お任せください

## 多様な資産運用ニーズを親身にサポート

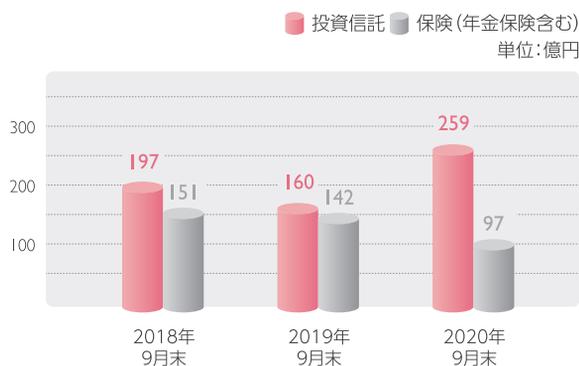
### 預り資産 残高

投資信託、公共債等の預り資産残高(取扱保険料累計額含まず)は2,315億円で、前年同期末比46億円の減少、うち個人の預り資産残高は2,124億円で、同51億円の減少となりました。期中販売額は投資信託が98億円増加の259億円、保険が45億円減少の97億円となりました。

### 預り資産残高



### 投資信託・保険期中販売額



# 格付は安心の 「Aクラス」を確保

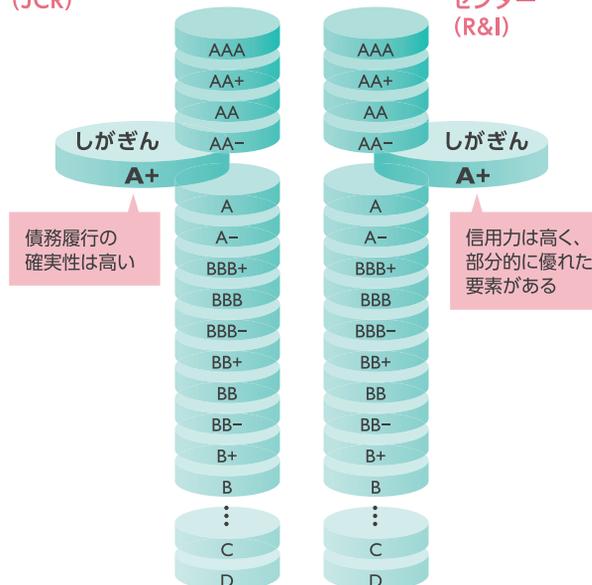
## 2つの格付機関が「A+」と高い評価

### 格付

「大切なお金は、安心できる銀行に預けたい」。格付はお客さまに安心して銀行をお選びいただくひとつの目安となる外部評価です。

当行は、2つの格付機関からともに「A+」を取得し、信用度について高い評価をいただいています。

### 日本格付研究所 (JCR)



### 用語説明

#### 格付

銀行預金の元金支払の確実性や安全性について、利害関係のない第三者が判断してその結果を簡潔な記号で表したものです。銀行を判断するうえで、安全性・信用度を客観的に評価した重要な指標のひとつです。



# これからも「安全」「健全」な経営に努めます

## 自己資本比率も国際統一基準を大きくクリア

### 自己資本比率 (連結)

自己資本比率は、銀行の安全性、健全性を測る指標のひとつです。当行のように海外に営業拠点を持つ銀行は、国際統一基準を満たしていなければなりません。

当行の自己資本比率は15.43%（バーゼルⅢ基準、2020年9月末、連結ベース）と国際統一基準を大きくクリアしています。

### 2020年9月末

|                | 実績     | 最低所要比率 |
|----------------|--------|--------|
| 連結 総自己資本比率     | 15.43% | 8.0%以上 |
| 同 Tier1比率      | 15.43% | 6.0%以上 |
| 同 普通株式等Tier1比率 | 15.43% | 4.5%以上 |

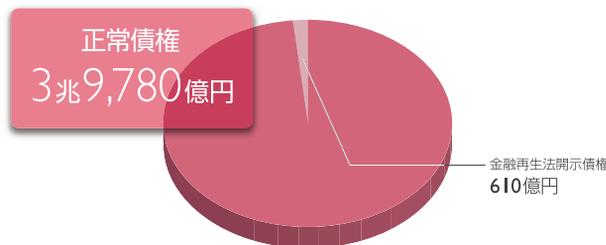
※バーゼルⅢ基準による自己資本比率を算出しております。

### (ご参考:自己資本比率推移)

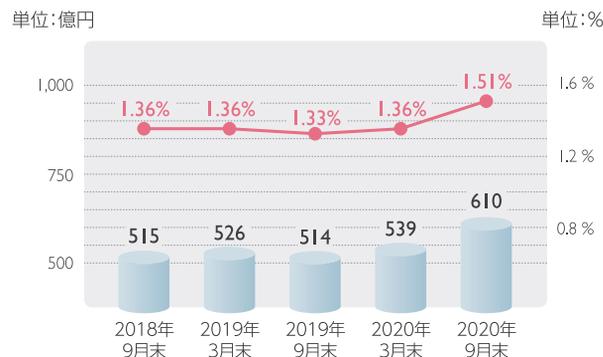


## 不良債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の合計は前期末(2020年3月末)比70億円増加し610億円、総与信に占める比率は1.51%で同0.15%の上昇となりました。また、貸倒引当金や担保などによる保全率は66.70%で同3.35%の低下となりました。



## 金融再生法開示債権



### 用語説明

#### 不良債権比率

貸出金等の総与信残高に占める不良債権の割合です。不良債権比率が低いほど、資産の質は高くなります。銀行ごとにその資産総額の規模が異なることから、この比率が銀行の健全性をみる指標のひとつになります。

### 用語説明

#### 自己資本比率

銀行の安全性、健全性を判断する基準のひとつに、自己資本比率があります。海外に支店を有する国際統一基準行では新たな自己資本比率規制（バーゼルⅢ）が2013年3月期決算から段階的に導入され、各最低所要比率を満たす必要があります。

# お知らせします、 しがぎんの業績



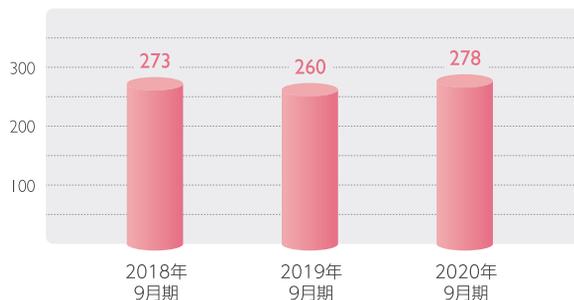
## 業績ハイライト

- 貸出金利息は前年同期比10億円減少、有価証券利息配当金は同2億円減少しました。一方で、預金等利息をはじめとする資金調達費用が減少し、資金利益は同6億円増加しました。
- 役務取引等利益は前年同期比1億円増加、その他業務利益は同9億円増加し、業務粗利益は同17億円の増益となりました。
- 経費は全体で前年同期比64百万円減少しました。
- 臨時損益は、全体で前年同期比11億円減少し、経常利益は同8億円の増益となりました。一方、固定資産処分益の減少等により特別損益が前年同期比29億円減少しました。また、法人税等合計は前年同期比7億円減少しました。
- これらの結果、中間純利益は65億円となり前年同期比12億円の減益となりました。

## 業務粗利益

銀行本来の業務（貸出業務、為替業務、有価証券運用など）から得た利益です。

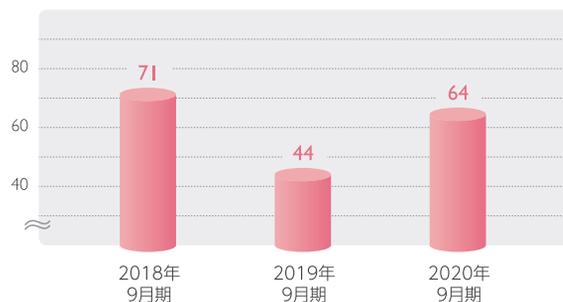
単位：億円



21

## 業務純益

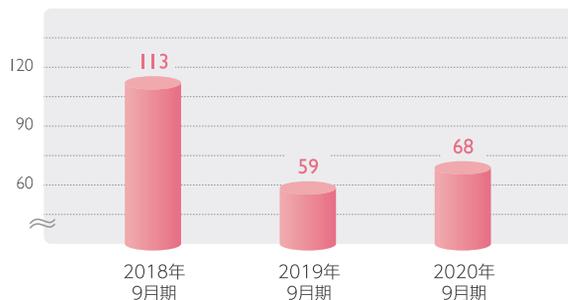
一般企業でいう営業利益にあたります。業務純益＝業務粗利益－経費（人件費、物件費など）－一般貸倒引当金繰入額 単位：億円



## 経常利益

業務純益から株式の売却損益や不良債権処理に関わる費用などをプラス・マイナスした利益です。

単位：億円



## 中間純利益

経常利益から法人税や事業税等を差し引いた最終的な利益です。

単位：億円



22